

区別計画 川 崎 区

川崎区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

災害や危機に備える

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防署所の改築事業（臨港消防署） 耐震補強の必要な臨港消防署を計画的に整備し、防災拠点の確保と初動体制の強化を図ります。		臨港消防署改築用地の調査整備手法の検討			改築工事着手
消防署所の適正配置 （小田・鋼管通・大師・富士見出張所） 消防体制の均一化を図るため、市全体のバランスを考慮し、効率的な消防署所配置とするため、大師出張所と富士見出張所を統合します。		小田・鋼管通出張所の統合	大師・富士見出張所の統合		
消防力の整備事業 効率的で効果的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を川崎・臨港消防署に配置し、また、川崎・臨港消防署本署及び小田出張所のポンプ車を5人乗車体制とします。	（指揮情報隊） （5人乗車体制）	臨港・川崎消防署に配置 川崎消防署及び小田出張所で実施			臨港消防署で実施
雨水貯留管関連事業 都市化の進展に伴う雨水流出量の増大や近年の集中豪雨による「都市型水害」を防ぐとともに、合流改善にも寄与する雨水貯留管の整備を推進します。	（大師河原雨水貯留管） （川崎駅前貯留管）整備	完成 1,120m	基本設計	実施設計	工事着手
大師河原水防センター整備事業 （大師河原地区） 多摩川の出水や震災などの災害時の防災活動拠点、さらには、東扇島の広域防災拠点と連携を図ることを目的として、国と連携して河川防災ステーション内に整備します。	スーパー堤防整備 河川防災ステーションの基盤整備			水防センターの整備・完成	

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
交通バリアフリー法重点整備地区交通安全施設整備事業（川崎駅周辺地区） 交通バリアフリー法に基づき、川崎駅周辺地区について2005～2010年までにバリアフリー対策を実施します。	基本構想策定	整備着手			2010年度整備完了
駅アクセス向上等計画調査事業 （川崎駅北口自由通路） 川崎駅北口において、駅周辺整備の進展により増加する乗降客への対応や、駅東西の回遊性の向上を図る自由通路の整備に向けた取組を推進します。	川崎駅北口自由通路の調整・調査				2008年度以降完成
あんしん歩行エリア整備事業 （観音地区・富士見公園地区） 2007年度までに、観音地区及び富士見公園地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定	整備着手		整備完了	

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
橋りょう整備事業（白石橋） 白石橋は経年等により老朽化が著しいため、2006年までに架替を行い通行の安全確保を図ります。	整備着手		整備完了		
耐震対策等橋りょう整備事業 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。	整備済 4橋 （累計）		整備完了 5橋 （累計）	整備完了 6橋 （累計）	2008年度 整備完了 8橋 （累計）
川崎駅東口周辺放置自転車等対策 推進事業 地域課題 川崎駅東口周辺の放置自転車整理と自転車利用者に対する駐輪場への誘導及びマナー向上に向けた啓発活動を交通安全関係団体や市民ボランティアにより実施します。		指導・啓発			
放置自転車対策事業 駐輪場の新設・増設・改修を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動の推進とあわせ、放置禁止区域の指定か所数の拡大を図ります。	駐輪場の収容 台数 8,746台 放置禁止区域 3駅	駐輪場の整備 放置禁止区域 の指定 八丁畷駅			
自転車利用環境整備事業 利用者の視点に立った使いやすい駐輪場をめざし、料金格差の設定などにより、利用率が70%に満たない駐輪場の利用率向上等の取組を推進します。	利用率が70%に 満たない駐輪場 2か所	利用率向上に 向けた取組の 推進			

安定した供給・循環機能を提供する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
管きよ再整備事業 耐用年数50年を経過した老朽下水道管きよの再整備を、現場の状況等に応じた工法により効率的に推進します。	川崎・幸区 整備済 22km	京町、渡田、 浜町地区ほか 完成 8km	渡田、大島地区 ほか 完成 9km	渡田、小田栄 地区ほか 完成 10km	合流地区の 再整備
入江崎水処理センター（西系）再整備事業 県下で最も古い処理場である入江崎水処理センターのリニューアルにより、安全性、安定性を向上し、安心できる市民生活に寄与します。	西系処理能力 129,000m ³ /日 の内、1/2系 (64,500m ³ /日) を施工	土木構造物築造		建築構造物 築造など	2010年度 完成 (2/2系施工)

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域の縁側づくり事業 魅力ある区づくり推進事業 「川崎市地域福祉計画」において、位置づけた「地域の縁側づくり」を実施します。	川崎市 地域福祉計画 策定	モデル事業実施			
介護サービスの基盤整備事業 (小田地区) 介護保険制度の基盤整備として、小田地区に介護老人保健施設を整備します。	工事着手	工事完了・開設 150床			
民間特別養護老人ホーム整備事業 (小田地区) 要介護高齢者の増加に対応するために、小田地区に特別養護老人ホームを整備します。	工事着手	工事完了	開設 120床		

基本政策 人を育て心を育むまちづくり

子育てを地域社会全体で支える

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域子育て支援体制の確立(保育事業) 大島地区及び日進町地区の子育て広場を子育て支援センターと統合し、相談事業の充実や、親子で遊べる場づくりを進めます。	(子育て広場)	2か所 大島地区 日進町地区			
認可保育所の整備 保育基本計画・同事業推進計画に基づき保育所入所待機児童の解消を図るため、藤崎地区及び富士見地区に認可保育所を整備します。	(藤崎地区：定員120人増)・ 工事 (富士見地区：定員30人増) 工事	開所 開所			

子どもが生きる力を身につける

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校教育施設の改築事業 多様化する教育内容や教育方法に対応し、また、地域と学校が共に利用できる、より安全で快適な教育環境をめざして、川中島中学校と東門前小学校の改築を行います。	(川中島中学校) 工事着手 (東門前小学校) 基本構想策定	校舎完成 実施設計		工事着手	校舎完成

生涯を通じて学び成長する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放 運営委員会 による施設開放	市民主体 運営モデル 1校	市民主体 運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校 へ拡大

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
富士見周辺地区整備の推進及び調整 富士見公園及び周辺市民利用施設の総合的・一体的な整備に向けて、富士見周辺地区整備基本計画を策定します。	(富士見周辺地区整備基本計画)	素案見直しの検討	基本計画の策定	取組の推進	整備推進
富士見公園整備事業 野宿生活者自立支援事業とあわせて、都市計画決定区域内の労働会館前から市民広場までのコンコースの環境整備を行います。	整備計画の検討	基本計画実施設計	施設整備		
緑化推進重点地区整備事業 花と緑を基調とした魅力づくりを目標として、川崎駅周辺地区緑化推進重点地区整備事業(川崎区)を推進します。	(川崎駅周辺地区)	シンボルツリー植栽	公共施設緑化	整備完了	
リフレッシュパーク整備事業 市民参画により策定された整備計画に基づき、桜川公園の完成をめざします。	(桜川公園) 整備	整備・完成			

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

川崎を支える産業を振興する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
川崎駅周辺市街地活性化等推進事業 効果的な情報提供とイベントの実施、環境整備により川崎駅周辺の回遊性の向上を図り、中心市街地を活性化します。	(TMO運営協議会会員数) 19団体	22団体	25団体	30団体	多数の団体の協力による駅周辺の活性化

川崎臨海部の機能を高める

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
臨海部産学公民連携の推進 川崎臨海部再生に資する企業間連携によるモデル事業を推進するとともに、臨海部再生に向けた取組の情報発信を行います。	(産学公民の連携によるモデル事業化) 産業系排熱利用及び資源循環プロジェクトの連携調査・検討	産学公民の連携によるモデル事業化検討	モデル事業化支援		
アジア起業家誘致交流促進事業 拠点施設整備、入居者支援、ブランド確立等により、アジア企業の産業集積を図ります。	(アジアの起業家の誘致) 上海市との連携 3社進出	アジアからのベンチャー企業誘致 5社進出	アジア主要都市からの誘致促進 5社進出	5社進出	アジアのベンチャー創業の拠点づくり
川崎殿町・大師河原地域の拠点整備 都市再生事業計画の策定、事業化に向けた調整を行い、都市基盤の整備と企業等の誘致により神奈川口構想の実現と活力ある都市拠点を整備します。	特定地区の整備計画策定	都市再生事業計画の策定	企業等の誘致 順次整備着手		

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>浜川崎駅周辺地域の拠点整備</p> <p>広域的視点から求められる新たな機能立地に必要な基盤整備や土地利用転換の動向を視野に入れながら円滑に地域整備を進めます。</p>	特定地区の整備計画策定	事業推進方策検討	都市再生事業計画の策定	企業等の誘致 順次整備着手	
<p>羽田連絡道路関連事業</p> <p>羽田空港の再拡張・国際化にあわせ、羽田連絡道路の整備とそれに連携した臨海部交通ネットワーク基盤の検討を進めることにより、京浜臨海部の活性化を推進します。</p>	基本計画検討	ルート・構造及び環境などの調査・検討	環境アセス・都市計画手続		着工
<p>港湾物流拠点推進事業</p> <p>東扇島の物流機能の強化に向け、ファズ2期3期計画の見直しや物流動向に合わせた物流機能の高度化を推進します。</p>	(ファズ2期、3期計画の見直し) 土地暫定利用中 港湾物流動向の調査・研究	土地利用方策、立地誘導機能の調査・検討	ファズ計画の見直し 企業の誘致に向けた取組推進	企業誘致	物流機能の高度化
<p>臨港道路東扇島水江町線整備事業</p> <p>臨港道路東扇島水江町線の整備に向けた調査・検討に着手します。</p>	検討			調査・検討	整備着手
<p>浮島埋立事業（1期）</p> <p>廃棄物最終処分場を形成する護岸の健全性の確保、水質環境への配慮から、浮島1期地区の護岸を2004年度から3か年をかけ補修を行います。</p>	(工事進捗率) 詳細調査設計	50%	100%		
<p>浮島埋立事業（2期）</p> <p>浮島2期地区の廃棄物埋立護岸工事のうち、2009年の羽田空港再拡張に合わせて、地盤改良工事を完了します。</p>	(地盤改良工事進捗率) 57%	63%	76%	88%	地盤改良工事 2009年完了
<p>基幹的広域防災拠点整備の推進及び調整（東扇島東緑地整備事業）</p> <p>基幹的広域防災拠点を活用した市民の防災意識の向上や臨海部の活性化につながる取組を進めていきます。また、平常時の利用として、東扇島東緑地の整備を国直轄事業により推進し、市民などへ親水性のある豊かな緑地空間を提供します。</p>	整備着手 整備着手	活用方策の調査・検討 緑地整備の推進	広域防災拠点の整備完了 人口海浜を有する港湾緑地の完成		基幹的広域防災拠点を活用した取組 魅力ある緑地空間の提供
<p>川崎港保安対策事業</p> <p>港の保安対策の継続的な実施と効率的かつ効果的な運用に努めます。</p>	保安対策施設整備完了	保安対策の実施			

都市の拠点機能を整備する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
川崎駅周辺総合整備計画策定事業 西口地区の再開発に併せ、駅東西の回遊性の向上や東口広場のバリアフリー化など総合的な取組を進め、本市の広域都市拠点の形成を推進します。	整備基本計画の策定	整備実施計画の策定	整備		
川崎駅北口地区第2街区再開発等事業 広域拠点としての市街地にふさわしい街並み形成をめざし、再開発など事業実施に向けた地元協議を進めます。	調査 地元協議	準備組合設立に向けた 合意形成・ 事業計画の検討			事業着手

基幹的な交通体系を構築する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
川崎縦貫道路の整備（出資金） 川崎縦貫道路（浮島～国道15号）の整備を促進し、本市の都市機能の向上や首都圏の広域道路網の形成を推進するとともに、国道15号以西のルートや構造等の見直しを進めます。	一部供用 整備				
京浜急行大師線連続立体交差事業 最も費用対効果の大きい産業道路（東門前駅～小島新田駅間）を優先的に立体化する段階的整備を推進します。	設計 用地取得	整備 用地取得			産業道路の立体化 2010年度完成
大師橋整備事業 臨海部の主要幹線道路である産業道路のボトルネックとなっている大師橋の渋滞緩和を図るため、2006年度の完成（6車線供用）に向け、整備を推進します。	暫定供用 （上り2車線 下り1車線）		完成・全面供用 （6車線）		

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

川崎の魅力を育て発信する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>かわさき産業ミュージアム推進事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>日本の近代化や高度経済成長を支えた近代化遺産・産業文化財を保存・活用するため、企業や市民との協働により、区域を展示場に見立てた「かわさき産業ミュージアム」を推進します。</p>	<p>構想策定 実験事業実施 ガイドブック作成</p>	<p>産業文化財調査 見学会実施 ガイドブック改訂</p>			
<p>音楽のまち・かわさき推進事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>誰もが気軽に音楽に触れ、また発表することができる機会を設けることで、川崎区内をいつでも音楽が聞こえるまちにすることを目的に、「いつでも誰でもコンサート」を実施します。</p>	<p>「いつでも誰でもコンサート企画実行委員会」の立ち上げ コンサート実施</p>				
<p>観光と地域活性化事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>東海道川崎宿の歴史と文化を活かしたまちづくりを推進します。</p>	<p>市民提案書 「東海道川崎宿2023いきいき作戦」策定 推進組織 「東海道川崎宿2023」の立ち上げ</p>	<p>市民提案書 実現に向けた取組の実施</p>			

多摩川などの水辺空間を活かす

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>多摩川における桜並木の復活事業</p> <p>多摩川の堤防への植樹は制限されていますが、スーパー堤防事業等により桜の植樹が可能となってきたことから、国と連携し桜の植樹事業を展開します。</p>	<p>(桜の植樹) 大師地区</p>		<p>大師河原地区</p>		
<p>多摩川の市民活動育成支援事業</p> <p>大師河原水防センターの整備を行うとともに、平常時には多摩川における市民の活動拠点としての活用を図り、水辺の楽校3校目の拠点とします。</p>	<p>水辺の楽校 ・かわさき ・とどろき</p>	<p>設計</p>	<p>水防センターの整備</p>	<p>水辺の楽校3校目の設立準備</p>	<p>水辺の楽校3校目の設立</p>

基本政策 参加と協働による市民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>区民会議運営事業</p> <p>区における課題を的確に把握し、区民の参加と協働によって、地域で解決するための調査・審議を行う区民会議を設置します。</p>		<p>要綱による 試行実施</p>	<p>条例による設置</p>	<p>運営</p>	

區別計画 幸 区

幸区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

災害や危機に備える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防署所の改築事業（幸消防署） 耐震補強の必要な幸消防署を計画的に整備し、防災拠点の確保と初動体制の強化を図ります。				幸消防署改築設計	工事着手
消防力の整備事業（幸消防署） 効率的で効果的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を幸消防署に配置し、また、幸消防署本署のポンプ車を5人乗車体制とします。	（指揮情報隊） （5人乗車体制）				幸消防署に配置 幸消防署で実施
雨水貯留管関連事業 都市化の進展に伴う雨水流出量の増大や近年の集中豪雨による「都市型水害」を防ぐため、貯留管を早期に機能させるよう渋川雨水貯留管のバイパス管整備を進めます。また、川崎駅西口の浸水対策事業として、貯留施設の整備を進めます。	（渋川バイパス管） （川崎駅西口浸水対策事業） 貯留池3,500m3 貯留管660m 整備	着手延長 1,269m 完成	着手延長 55m		2008年度以降 着手延長 615m

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
交通バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業（川崎駅周辺地区） 交通バリアフリー法に基づき、川崎駅周辺地区について2005～2010年までにバリアフリー対策を実施します。	基本構想策定	整備着手			2010年度 整備完了
あんしん歩行エリア整備事業（戸手地区） 2007年度までに、戸手地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定		整備着手	整備完了	
橋りょう整備事業（江ヶ崎跨線橋） 江ヶ崎跨線橋は経年等により老朽化が著しいため、2007年度から架替を行い通行の安全確保を図ります。	架替えの基本合意	基本設計	実施設計	整備着手	2010年度 整備完了
耐震対策等橋りょう整備事業 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。	整備済 2橋 （累計）		整備完了 4橋 （累計）	整備完了 5橋 （累計）	
放置自転車対策事業 駐輪場の新設・増設・改築を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動を推進します。	駐輪場の収容 台数 5,406台 放置禁止区域 4 駅	駐輪場の整備			
自転車利用環境整備事業 利用者の視点に立った使いやすい駐輪場をめざし、料金格差の設定などにより、利用率が70％に満たない駐輪場の利用率向上等の取組を推進します。	利用率が70％に 満たない駐輪場 1か所	利用率向上に向けた取組の 推進			

安定した供給・循環機能を提供する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
管きよ再整備事業（南幸町地区） 耐用年数50年を経過した老朽下水道管きよの再整備を、現場の状況等に応じた工法により効率的に推進していきます。	川崎・幸区 2.2km	南幸町地区 0.5km	南幸町地区 1km		合流地区の再整備

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
民間特別養護老人ホーム整備事業（古市場地区） 要介護高齢者の増加に対応するために、市営住宅の改築にあわせて古市場地区に特別養護老人ホームを整備します。			工事着手	工事完了・開設 120床	

基本政策 人を育て心を育むまちづくり

子育てを地域社会全体で支える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域子育て支援体制の確立(保育事業) 古市場地区の子育て広場を統合、北加瀬地区の保育所整備にあわせて設置するとともに、他に区内1か所の子育て支援センターを設置し、相談事業の充実や親子で遊べる場づくりを進めます。	(子育て広場) (子育て支援センター)	1か所 古市場地区		1か所 北加瀬地区 保育所内	1か所 未定
子育て支援ネットワーク推進事業 魅力ある区づくり推進事業 親や家族が安心して楽しく育児ができるように地域一体となった子育て支援を進めます。	地域ぐるみの 子育て支援の 強化	子育て支援ネットワークの形成と充実及び子育て交流会の実施			
認可保育所の整備 保育基本計画・同事業推進計画に基づき保育所入所待機児童の解消を図るため、北加瀬地区に認可保育所を整備します。	(北加瀬地区：定員120人増) 基本・実施設計	工事着手	工事完了	開所	

子どもが生きる力を身につける

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校適正配置推進事業 学校の適正規模化に向けて早急な検討が必要な小規模校1校について、幸区検討委員会での検討などを通じて、適正規模化へ向けた取組を進めます。	検討委員会設置	2か年で 河原町小学校の 適正規模化の 方針決定	→	適正規模化への 取組の推進 (2か年)	新たな 適正規模化 対象校への 取組

生涯を通じて学び成長する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放運営委員会による施設開放	市民主体運営モデル 1校	市民主体運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校 へ拡大

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
緑化推進重点地区整備事業 (川崎駅周辺地区) 花と緑を基調とした魅力づくりを目標として、川崎駅周辺地区緑化推進重点地区整備事業(幸区)を推進します。		川崎駅西口花壇整備	公共施設緑化	→	
花と緑のさいわい事業 魅力ある区づくり推進事業 創意と工夫によって区民が行う緑化運動や花と緑に関する事業を推進し、支援することにより緑化意識の高揚と明るい区づくりを進めます。	公共花壇等の 花植え 緑化団体支援 緑化啓発 イベントの開催	→	→	→	
リフレッシュパーク整備事業 2004年度に市民参画により策定した整備計画に基づき、2005年度には実施設計を行い、2006年度から整備に取り組みます。	(御幸公園)	実施設計	整備着手	→	2010年度 整備完了

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

川崎を支える産業を振興する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
川崎駅周辺市街地活性化等推進事業 TMOを中心に効果的な情報提供やイベントを実施し、駅周辺の回遊性の向上や中心市街地の活性化を図ります。	(TMO協議会会員数) 19団体	22団体	25団体	30団体	多数の団体の協力による駅周辺の活性化

新たな産業を創り育てる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
新川崎・創造のもり推進事業 新川崎・創造のもりにおいて、先端科学技術のセミナーを開催します。	(セミナー開催回数) 6回	5回	2回	2回 (民間主体実施)	→
さいわいテクノ塾事業 魅力ある区づくり推進事業 区内にある、ものづくり関連施設や科学技術関係機関などと連携した事業に取り組み、科学技術などに関する青少年の学びの場を提供するとともに施設の機能などへの理解を深めます。		青少年向け公開講座、科学技術体験講座の実施			

都市の拠点機能を整備する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 民間活力を活かした商業、業務、文化機能や都市型住宅機能の整備を進め、魅力と活力に溢れた本市の広域的都市拠点の形成を推進します。	用地取得 実施設計 整備	基盤整備	→	都市基盤整備 完成	
川崎駅周辺総合整備計画策定事業 西口地区の再開発に併せ、駅東西の回遊性の向上や東口広場のバリアフリー化など総合的な取組を進め、本市の広域都市拠点の形成を推進します。	整備基本計画 の策定	整備実施計画 の策定	整備	→	
新川崎地区整備調査事業 都市計画に基づく民間開発の適切な誘導と都市基盤の整備により、研究開発、産業の創出・育成、住宅などの諸機能が集積した新たなまちづくりを推進します。	民間開発 の誘導 都市計画決定	実施設計	交通広場・ 道路などの整備	→	2008年度以降完成
鹿島田駅西地区市街地再開発事業 鉄道利便性の高い地区の特性を活かし、社会経済環境に対応した都市計画の見直しにより市街地の再整備を推進します。	整備計画の見直し	都市計画変更	基本設計	事業計画策定	権利変換 整備着手

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

川崎の魅力を育て発信する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
音楽のまち推進事業 魅力ある区づくり推進事業 家族揃って気軽に楽しめるコンサート等の催し物を開催し、家族や地域の交流を図るとともに、芸術、文化及び音楽に親しむ土壌を育成します。	区役所、日吉出張所 ロビーコンサートの実施	記念コンサートの開催			

文化・芸術を振興し地域間交流を進める

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
川崎駅西口堀川町地区市民文化施設整備事業 音楽をはじめとする様々なジャンルの芸術活動に使用可能な多目的ホールを整備し、市民の文化芸術の振興を図ります。	ホール整備方針の検討	実施設計	内装・設備 工事着手		
			工事完了・開館		

多摩川などの水辺空間を活かす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
多摩川における桜並木の復活事業 多摩川の堤防への植樹は制限されていますが、スーパー堤防事業等により桜の植樹が可能となってきたことから、国と連携し桜の植樹事業を展開します。	(桜の植樹)			幸船着場周辺	
幸区船着場周辺の整備 幸区船着場周辺に、市民の憩える多摩川の拠点の一つとして公園機能を整備します。		調査	設計	用地取得及び 整備	
町田堀整備事業 地域課題 空堀状態で不法投棄等により美観を損ねている地区について住民の参加を得て緑を活かした整備を図ります。	住民意向調査	市民参加による 基本計画策定			整備実施

基本政策 参加と協働による自民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
市民活動支援事業 魅力ある区づくり推進事業 区内の団体や個人の自主的・非営利的な社会貢献活動を支援するため、機器や展示スペースの提供や市民活動団体のネットワークの構築をめざします。	印刷関係機器、情報端末、展示スペースの貸し出し	→ 市民活動団体の交流会開催			
まちづくり推進事業 魅力ある区づくり推進事業 自らの地域について話し合い、具体的な対策を協議・実践する場として組織されたまちづくり推進委員会の運営を行います。	区民意見の合意形成と区民と行政との協働によるまちづくり	→			
区民会議運営事業 区における課題を的確に把握し、区民の参加と協働によって、地域で解決するための調査・審議を行う区民会議を設置します。		要綱による 試行実施	条例による設置	運営 →	

區別計画 中 原 区

中原区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

災害や危機に備える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防署所の改築事業（中原消防署） 耐震補強の必要な中原消防署を民間ホテルとの複合化施設として移転改築し、防災拠点の確保と初動体制の強化を図るとともに、大災害時に市民の一時的な宿泊施設として活用します。		中原消防署 実施設計	工事着手	竣工	供用開始
消防署所の適正配置 （宮内・玉川出張所） 消防体制の均一化を図るため、市全体のバランスを考慮し、効率的な消防署所配置とするため、玉川出張所と宮内出張所を廃止します。					宮内・玉川 出張所の廃止
消防力の整備事業 （中原消防署・小田中出張所） 効率的で効果的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を中原消防署に配置し、また、中原消防署本署及び小田中出張所のポンプ車を5人乗車体制とします。	（指揮情報隊） （5人乗車体制）		中原消防署に配置		中原消防署及び 小田中出張所 で実施
雨水貯留管関連事業 都市化の進展に伴う雨水流出量の増大や近年の集中豪雨による「都市型水害」を防ぐため、貯留管を早期に機能させるよう渋川・江川雨水貯留管のバイパス管整備を進めます。	（渋川・江川バイパス管） 整備中 3,175m 整備済 5,395m	着手延長 823m	着手延長 353m	着手延長 499m	2008年度以降 着手延長 8,520m

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
交通バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業 （武蔵小杉駅周辺地区） 交通バリアフリー法に基づき、武蔵小杉駅周辺地区について2006～2010年までにバリアフリー対策を実施します。	基本構想策定		整備着手	→	2010年度 整備完了
東京急行東横線元住吉第1号踏切等関連施設改良推進事業 混雑緩和と輸送力増強にあわせ、元住吉第1号踏切の遮断時間の大幅な短縮により、鉄道による市街地の分断を改善し、地域の活性化を図ります。	整備			→	2009年度 完成
あんしん歩行エリア整備事業 （武蔵小杉駅周辺地区） 2007年度までに、武蔵小杉駅周辺地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定		整備着手	整備完了	

【中原区】

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>耐震対策等橋りょう整備事業</p> <p>阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。</p>	<p>整備済 3橋 (累計)</p>		<p>整備完了 4橋 (累計)</p>		
<p>放置自転車対策事業</p> <p>駐輪場の新設・増設・改修を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動の推進とあわせ、放置禁止区域の指定か所数の拡大を図ります。また、区内主要駅周辺に自転車整理誘導員を配置し、放置自転車の整理及び駐輪場への誘導を実施します。</p>	<p>駐輪場の収容台数 14,205台</p> <p>放置禁止区域 5駅</p> <p>自転車整理誘導員の配置</p>	<p>駐輪場の整備</p> <p>放置禁止区域の指定 向河原駅</p> <p>整理誘導員による放置自転車対策</p>			→
<p>自転車利用環境整備事業</p> <p>利用者の視点に立った使いやすい駐輪場をめざし、料金格差の設定などにより、利用率が70%に満たない駐輪場の利用率向上等の取組を推進します。</p>	<p>利用率が70%に満たない駐輪場 7か所</p>	<p>利用率向上に向けた取組の推進</p>			→

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>老人いこいの家運営（中原中学校区）</p> <p>高齢者を対象とした健康づくりや介護予防などの機能をもった（仮称）中原老人いこいの家を中原中学校区に整備します。</p>			<p>開設</p>		
<p>民間特別養護老人ホーム整備事業（上平間地区）</p> <p>要介護高齢者の増加に対応するために、上平間地区に地域密着型サービス（小規模特別養護老人ホーム等）施設を整備します。</p>			<p>工事着手・完了</p>	<p>開設</p>	

障害のある人が地域で共に暮らせる社会をつくる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>障害者福祉施策立案事業</p> <p>リハビリテーション福祉・医療センターの計画的な再編を実施することで、総合リハビリテーションセンターとしての整備を進めます。</p>		<p>基本計画策定調査</p>	<p>基本計画策定</p>	<p>実施計画策定</p>	<p>再編整備</p>

基本政策 人を育て心を育むまちづくり

子育てを地域社会全体で支える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域子育て支援体制の確立(保育事業) 木月祇園町地区の子育て広場を統合、他に区内1か所の子育て支援センターを設置し、相談事業の充実や親子で遊べる場づくりを進めます。	(子育て広場) (子育て支援センター)	1か所 木月祇園町地区			1か所 未定
中原区子育て支援事業 魅力ある区づくり推進事業 子育てしやすい地域の基盤整備として、子育て支援推進実行委員会等により子育てサロン(14か所)や見守り声かけ活動を実施します。さらに人材の育成等をめざして学習会や講演会等を開催します。	子育てサロンの運営 学習会、講演会等の運営	→	→		
認可保育所の整備 保育基本計画・同事業推進計画に基づき保育所入所待機児童の解消を図るため、木月地区に認可保育所を整備します。	(木月地区：定員60人増)		基本・実施設計 工事着手・完了	開所	

子どもが生きる力を身につける

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校適正配置推進事業 学校の適正規模化に向けて早急な検討が必要な小規模校1校について、中原区検討委員会での検討などを通じて、適正規模化へ向けた取組を進めます。	検討委員会設置	2か年で 下河原小学校の 適正規模化の 方針決定	→	適正規模化への 取組の推進 (2か年)	新たな 適正規模化 対象校への 取組

生涯を通じて学び成長する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
生涯学習施設の整備事業(中原市民館) 小杉駅南部地区グランド地区の開発事業にあわせ、中原市民館を再整備します。	(中原市民館の再整備)	着工	→		2009年度 開館
生涯学習施設の整備事業(中原図書館) 小杉駅南口地区西街区市街地再開発事業にあわせ、中原図書館を再整備します。	(中原図書館の再整備)		着工	→	2012年度 開館
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放 運営委員会 による施設開放	市民主体 運営モデル 1校	市民主体 運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校 へ拡大
中原区区民総ぐるみスポーツ大会業務委託事業 魅力ある区づくり推進事業 スポーツ・レクリエーションを通じ区民の健康増進・体力増強を図り、区民相互の親睦を深めることにより、健康で明るく住みよいまちづくりを推進します。イベント運営については、区民による実行委員会に委託します。	大会の企画、 準備、 広報等 大会の実施	スポーツを通じた地域間・世代間の交流と健康づくり			

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

生活環境を守る

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>等々力水処理センター高度処理施設建設事業</p> <p>東京湾と多摩川の再生に必要な水質環境の改善に向けて、高度処理施設を拡張します。高度処理水は江川せせらぎにも活用しています。</p>	<p>高度処理能力 395,500 m3/日 の内 65,800m3/日</p>	<p>処理量 84,600 m3/日</p>	<p>処理量 103,400 m3/日</p>	<p>処理量 131,600 m3/日</p>	<p>2/3系列施工</p>

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>等々力緑地施設整備事業</p> <p>水と緑の自然的環境のもと、スポーツ・レクリエーションの拠点施設及び災害時の広域避難場所として中央グラウンドの整備を進めます。</p>	<p>(整備済面積：累計) 32.5ha</p>	33.5ha	35.1ha	36.6ha	整備推進
<p>区役所敷地内等の区民参加花植栽事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>公募で集まった区民が、区役所敷地内、JR武蔵小杉駅周辺、武蔵中原駅前等の区内8か所に設置する区民花壇やポットに花を植え、年間を通じて水やり・追肥・害虫駆除・清掃等の維持管理を行います。</p>	<p>花の育て方等講習会の開催 花壇等の維持管理</p>	<p>区民による花とうるおいのあるまちづくりの実践</p>			
<p>中原区緑化推進・緑化資源の有効活用地域課題</p> <p>都市計画マスタープラン区民提案において、区内の歴史施設と緑を活かす水と緑のネットワークづくりの重要性が提案され、また一方では市の緑の基本計画により、小杉地区緑化推進重点地区計画が定められています。これらの提案や計画に基づき、緑道の整備等を中心に緑化推進及び緑化資源の有効活用のための施策を展開します。</p>	<p>(「バンジーの花回廊」プラン) 策定 実践活動 (「緑の散歩コース」) 策定 案内表示設置等、実践活動 緑道等の整備</p>				<p>駅前花壇整備 公共施設緑化</p>

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

都市の拠点機能を整備する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
小杉駅周辺地区再開発等事業 民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅など都市機能の集積を推進し、本市の新たな玄関口にふさわしい都市拠点の形成を推進します。	(グランド地区)	着工			(市民館)
	(南口地区西街区)	組合設立	着工		(図書館)
	(南口地区東街区)	都市計画手続	組合設立	着工	
	(東部地区)		(中原消防改築着工)	中原消防竣工	
	(小杉町3丁目中央地区)	準備組合支援	再開発の都市計画決定	組合設立・着工	2008年度以降完成
(小杉町3丁目東地区)	地元協議				
小杉駅周辺交通機能整備事業 (JR横須賀線・武蔵小杉新駅の整備) 新幹線駅や隣接都市拠点との連絡性の向上や、小杉駅周辺地区の広域的な都市機能の向上などを図るJR横須賀線・武蔵小杉新駅を整備します。	事業調整	概略設計 関連用地取得	詳細設計	工事着手	完成・新駅開業

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

川崎の魅力を育て発信する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
中原区音楽ライブ事業 魅力ある区づくり推進事業 区内のアマチュアバンドやダンスユニットが大舞台で日頃の成果を発表し、音楽を通じて幅広い年齢層の区民が交流することを目的に、区民の企画・運営により中原区音楽ライブ「In Unity」を開催する。	出演者の募集・選考、プログラム作成、広報等 中原区音楽ライブ「In Unity」の開催	音楽などを通じた自己表現と交流の場を提供し、区民からの音楽のまちづくりを推進			

基本政策 参加と協働による自民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
まちづくり推進事業 魅力ある区づくり推進事業 区が抱える課題の解決や、住みよいまちづくりに向けて、区民が主体となって実践的なまちづくりを推進します。	まちづくり実践活動組織の運営支援 自転車の整理誘導 区民活動支援コーナーの運営				
区民会議運営事業 区における課題を的確に把握し、区民の参加と協働によって、地域で解決するための調査・審議を行う区民会議を設置します。		要綱による試行実施	条例による設置	運営	

區別計画 高 津 区

高津区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

暮らしの安全を守る

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域の安全推進事業 魅力ある区づくり推進事業 安全な地域社会の確立に向け、地域住民と一体となって、防犯対策と交通安全対策事業を実施します。	防犯対策、交通安全対策の推進				

災害や危機に備える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防署所の改築事業 (高津消防署・新作出張所) 耐震補強の必要な高津署及び新作出張所を計画的に整備し、防災拠点の確保と初動体制の強化を図ります。		高津消防署 竣工		新作出張所の 耐震補強	
消防力の整備事業(高津消防署) 効率的で効果的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を高津消防署に配置し、また、高津消防署本署のポンプ車を5人乗車体制とします。	(指揮情報隊) (5人乗車体制)				高津消防署 に配置 高津消防署 で実施
雨水貯留管関連事業 都市化の進展に伴う雨水流出量の増大や近年の集中豪雨による「都市型水害」を防ぐため、貯留管を早期に機能させるよう江川雨水貯留管のバイパス管整備を進めます。	(江川バイパス管) 整備済 1,890m		着手延長 911m		2008年度以降 着手延長 1,985m

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
交通バリアフリー法重点整備地区交通安全施設整備事業(溝口駅周辺地区) 交通バリアフリー法に基づき、溝口駅周辺地区について2005～2008年までにバリアフリー対策を実施します。	基本構想策定	整備着手			2008年度 整備完了
あんしん歩行エリア整備事業 (溝の口駅周辺地区) 2007年度までに、溝の口駅周辺地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定		整備着手	整備完了	
耐震対策等橋りょう整備事業 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。	整備済 5橋 (累計)		整備完了 9橋 (累計)		

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>溝口駅周辺地区放置自転車等防止啓発キャンペーン事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>溝口駅周辺における放置自転車対策として、地元関係団体と連携したマナー向上の啓発活動等を実施します。</p>	<p>啓発活動等 各種対策の実施</p>				
<p>放置自転車対策事業</p> <p>駐輪場の新設・増設・改修を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動の推進とあわせ、放置禁止区域の指定か所数の拡大を図ります。</p>	<p>駐輪場の収容台数 6,993台</p> <p>放置禁止区域 4駅</p>	<p>駐輪場の整備</p>		<p>放置禁止区域の指定 1駅</p>	
<p>自転車利用環境整備事業</p> <p>利用者の視点に立った使いやすい駐輪場をめざし、料金格差の設定などにより、利用率が70%に満たない駐輪場の利用率向上等の取組を推進します。</p>	<p>利用率が70%に満たない駐輪場 3か所</p>	<p>利用率向上に向けた取組の推進</p>			

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>老人いこいの家運営 (西高津中学校区)</p> <p>高齢者を対象とした健康づくりや介護予防などの機能をもった(仮称)西高津老人いこいの家を西高津中学校区に整備します。</p>				<p>開設</p>	

基本政策 人を育て心を育むまちづくり

子育てを地域社会全体で支える

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>地域子育て支援体制の確立(保育事業)</p> <p>梶ヶ谷地区の子育て広場を子育て支援センターと統合し相談事業の充実や親子で遊べる場づくりを進めます。</p>	<p>(子育て広場)</p>	<p>1か所 梶ヶ谷地区</p>			
<p>認可保育所の整備</p> <p>保育基本計画・同事業推進計画に基づき保育所入所待機児童の解消を図るため、千年地区及び久地地区に認可保育所を整備します。</p>	<p>(千年地区：90人増) 基本・実施設計 (久地地区：60人増) (民間整備)</p>	<p>工事着手</p>	<p>工事完了</p>	<p>開所 開所</p>	

子どもが生きる力を身につける

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校教育施設の改築事業 多様化する教育内容や教育方法に対応し、また、地域と学校が共に利用できる、より安全で快適な教育環境をめざして、橘中学校の改築を行います。	(橘中学校) 実施設計	工事着手	校舎完成		
学校適正配置推進事業 学校の適正規模化に向けて早急な検討が必要な過大規模校1校について、高津区検討委員会での検討などを通じて、適正規模化へ向けた取組を進めます。	検討委員会設置	2か年で 子母口小学校の 適正規模化の 方針決定	→	適正規模化への 取組の推進 (2か年)	新たな 適正規模化 対象校への 取組

生涯を通じて学び成長する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放 運営委員会 による施設開放	市民主体 運営モデル 1校	市民主体 運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校 へ拡大

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
緑の景観づくり推進事業 (矢上川河川緑地周辺) 矢上川河川緑地周辺について、市民との協働による花壇等の緑化整備を図り、河川空間と一体となった緑の景観づくりを推進します。		地域との 協議・調整 実施設計 工事施工・完了			

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

都市の拠点機能を整備する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>溝口駅南口周辺地区の総合的整備 推進 地域課題</p> <p>地域の個性を活かした魅力あるまちづくりを行うため、地域一帯の整備に係る基本方針に基づき、課題の解決や個別事業の調整など総合的な取組を進めます。</p>	<p>(南口周辺地区の整備)</p> <p>基本方針策定・推進</p> <p>(仮称 久本薬医門公園)</p> <p>公園整備計画策定</p>				
<p>溝口駅南口広場整備事業</p> <p>JR武蔵溝ノ口駅及び東急溝ノ口駅利用者の利便性向上を図るため、駅前広場やペDESTリアンデッキの整備を推進します。</p>	<p>(南口広場)</p> <p>用地取得</p> <p>(ペDESTリアンデッキ)</p>			整備着手	2008年度完成
<p>梶が谷駅周辺交通環境整備事業</p> <p>土地利用の転換などの機会を捉え、駅周辺の交通課題の改善を図り、安全で利便性の高い駅周辺のまちづくりを推進します。</p>	課題の検討	課題の調整			
		整備手法の検討		整備	

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

川崎の魅力を育て発信する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>高津区「音楽のまち」推進事業</p> <p>魅力ある区づくり推進事業</p> <p>区内の豊富な音楽資源を活かし、区民との協働による音楽関連事業を展開します。</p>	音楽関連事業の実施				
<p>地域活性化推進事業</p> <p>魅力ある区づくり推進事業</p> <p>地域の活性化とコミュニティの形成を図るため、文化・スポーツ活動などの各種市民活動の支援や地域住民が主体となったイベントを実施します。</p>	各種市民活動の支援やイベントの実施				

多摩川などの水辺空間を活かす

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>旧平瀬川跡地整備計画策定事業</p> <p>魅力ある区づくり推進事業</p> <p>溝口駅北口に残された貴重な公共空間である旧平瀬川跡地の有効利用を図るため、市民参画による基本計画を策定します。</p>	市民参画による基本計画策定	取組推進			

基本政策 参加と協働による自民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
高津まちづくりビジョン推進事業 魅力ある区づくり推進事業 区民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、高津まちづくりビジョンの中で提案されたメニューを実施します。	提案メニューの実施	→			
ISO9000シリーズ認証活用事業 窓口サービスの向上と効率化を図るため、取得済みのISO認証を維持します。	認証取得	ISO認証維持	→		
区民会議運営事業 区における課題を的確に把握し、区民の参加と協働によって、地域で解決するための調査・審議を行う区民会議を設置します。		要綱による 試行実施	条例による設置	運営	→

區別計画 宮 前 区

宮前区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

災害や危機に備える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防力の整備事業（宮前消防署） 効率的で効果的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を宮前消防署に配置し、また、宮前消防署のポンプ車のうち1隊を5人乗車体制とします。	（指揮情報隊） （5人乗車体制）				宮前消防署に配置 宮前消防署で実施

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
あんしん歩行エリア整備事業（宮前平駅周辺地区） 2007年度までに、宮前平駅周辺地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定	整備着手	→	整備完了	
耐震対策等橋りょう整備事業 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。	整備済 7橋 （累計）	整備完了 9橋 （累計）		整備完了 11橋 （累計）	2008年度 整備完了 13橋 （累計）
放置自転車対策事業 駐輪場の新設・増設・改修を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動を推進します。	駐輪場の収容 台数 3,622台 放置禁止区域 3駅	駐輪場の整備	→		

安定した供給・循環機能を提供する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
鷺沼プール廃止に伴う配水池上部の有効活用 鷺沼プール廃止に伴う配水池上部の有効活用を図るため、市民意見を取り入れながら、広場・運動施設を整備します。	広場基本設計 実施設計 プール撤去工事	広場整備工事 運動施設整備工事（民間）	広場開園 運動施設開場（民間）		

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
民間特別養護老人ホーム整備事業 (神木本町地区) 要介護高齢者の増加に対応するために、神木本町地区に特別養護老人ホームを整備します。	工事着手	工事完了	開設 100床		
介護サービスの基盤整備事業 (野川地区) 中軽度の要介護者を対象とした居住系サービスの中心として、野川地区にケアハウスを整備します。	工事着手	工事完了	工事完了・開設 100床		
介護サービスの基盤整備事業 (鷺沼地区) ショートステイ専用施設や介護予防拠点等の機能をあわせ持った多機能型施設として、鷺沼地区に介護予防・高齢者多機能型施設を整備します。			工事	開設	

すこやかで健康に暮らす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
ヘルスUP ² みやまえ計画事業 魅力ある区づくり推進事業 区民が心身ともに健康で生きがいのある生活を送るため、思春期世代のこころと体の健康づくりや、子どもたちに食の大切さを教える講話と実習、男性料理教室等の健康に係る環境づくりを実施します。	いきいき ダイエット計画、 プレママ クッキング、 男性料理教室等 の実施	子どもの「食」に関する取組の交流会を通じた区内の各機関の連携・強化の推進 フッ化物洗口普及事業の推進			

基本政策 人を育て心を育むまちづくり

子育てを地域社会全体で支える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>地域子育て支援体制の確立(保育事業)</p> <p>鷺沼地区及び菅生地区の子育て広場を統合、鷺沼プール跡地の保育所整備にあわせ設置するとともに、他に区内1か所の子育て支援センターを設置し、相談事業の充実や親子で遊べる場づくりを進めます。</p>	<p>(子育て広場)</p> <p>(子育て支援センター)</p>	<p>2か所</p> <p>鷺沼地区 菅生地区</p>	<p>1か所</p> <p>鷺沼プール跡地 保育所内</p>		<p>1か所</p> <p>未定</p>
<p>子育て支援事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>宮前区の子育て支援関係者間の連携を図り、安心して子育てができる地域づくりを推進します。</p>	<p>定例的な「子育て支援関係者連絡会」の開催</p> <p>「子育てかわら版」の発行</p>	<p>子育て支援関係者の参加団体の拡大</p>			
<p>認可保育所の整備</p> <p>保育基本計画・同事業推進計画に基づき保育所入所待機児童の解消を図るため、鷺沼プール跡地に認可保育所を整備します。</p>	<p>(鷺沼プール跡地：定員120人増)</p> <p>基本・実施設計</p>	<p>工事着手・完了</p>	<p>開所</p>		

子どもが生きる力を身につける

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>学校教育施設の新築事業</p> <p>児童生徒の増加による学校の過大規模を解消するために、土橋小学校の新築整備を進めます。</p>	<p>(土橋小学校新築整備)</p> <p>工事着工</p>	<p>→</p>	<p>開校</p>		
<p>学校適正配置推進事業</p> <p>学校の適正規模化に向けて早急な検討が必要な過大規模校4校について、宮前区検討委員会での検討などを通じて、順次適正規模化へ向けた取組を進めます。</p>	<p>検討委員会設置</p>	<p>2か年で 宮崎小学校、 野川小学校 の適正規模化 の方針決定</p>	<p>土橋小学校の開校に伴う 富士見台小学校、 鷺沼小学校の 適正規模化</p> <p>→</p>	<p>適正規模化への 取組の推進 (2か年)</p>	<p>新たな適正規模化 対象校への取組</p>

生涯を通じて学び成長する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
生涯学習施設の整備事業 地域の生涯学習環境の整備を図るため、有馬・野川地区に地域の生涯学習拠点施設を建設します。	(有馬・野川地区生涯学習拠点施設整備) 2001年度 基本計画策定	整備検討委員会 設置	施設整備	→	2008年度開館
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放 運営委員会 による施設開放	市民主体 運営モデル 1校	市民主体 運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校 へ拡大
宮前スポーツセンター建設事業 市民の健康増進、体力向上を図るため、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる施設として宮前区のスポーツセンター建設を進めます。	建設中	竣工	開館		
みやまえスポーツふえすていばる 魅力ある区づくり推進事業 バレーボール大会、ソフトボール大会等の各種スポーツ大会を通して、活力あるふれあいの場づくりや区民の健康増進を図ります。	バレーボール大会、 ソフトボール大会、 デイカハークウォーク みやまえ等の 実施	より多くの 区民が参加 できる大会 の実施			

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
東名川崎IC周辺整備推進に関する 事業 地域課題 川崎の北の玄関口である東名川崎インターチェンジの周辺の整備を地域住民組織等と連携・協力して推進します。	尻手黒川線 沿道の緑化等	→	周辺の景観の 整備及び 事業の再検討		

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

都市の拠点機能を整備する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
鷺沼駅周辺まちづくり調査事業 安全で快適な地域拠点の形成を図るため、鷺沼駅周辺の交通環境における課題の整理や関係機関との調整など、まちづくりの推進に向けた取組を進めます。	課題の 調査・検討	鷺沼駅周辺交通環境等の調査・検討			→

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

文化・芸術を振興し地域間交流を進める

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
文化・芸術推進事業 魅力ある区づくり推進事業 文化・芸術活動を通じて区民の創造性の喚起や、地域コミュニティの活性化のため、月1回開催のロビーコンサート等を開催します。	ロビーコンサート等の実施	区民が文化・芸術活動を通じてつながりあえる交流の場の提供			

多摩川などの水辺空間を活かす

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
準用河川改修事業（矢上川） 矢上川の健全な水循環の再生をめざし、雨水浸透機能の回復、湧水の保全、川とのふれあい場づくりなど、市街地での河川環境の改善に努めます。	整備着手			整備・完成	

基本政策 参加と協働による自民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
まちづくり推進事業 魅力ある区づくり推進事業 新総合計画等の実現に向け、新たな協働によるまちづくりシステムの構築を図るとともに、各種の区民活動と連携を取り、潤いのある、住みよいまちづくりを推進します。	宮前区区づくりプラン推進委員会の活動支援 同委員会による区民活動支援 パートナーシップ事業等の推進	区民協働事業提案制度、委託事業公募制度等の確立			
区民会議運営事業 区における課題を的確に把握し、区民の参加と協働によって、地域で解決するための調査・審議を行う区民会議を設置します。		要綱による試行実施	条例による設置	運営	

區別計画 多 摩 区

多摩区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

災害や危機に備える

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防力の整備事業（多摩消防署） 効率的で効率的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を多摩消防署に配置し、また、多摩消防署本署のポンプ車を5人乗車体制とします。	（指揮情報隊） （5人乗車体制）				多摩消防署に配置 多摩消防署で実施
五反田川放水路整備事業 五反田川の洪水を直接多摩川に地下トンネルで放流させることにより、五反田川・二ヶ領本川流域約400haの浸水被害の解消を図ります。	上流部の立坑施工済み	区分地上権取得及び工事着手に向けて取り組む			放水路の完成により、下流域は50mm/hの河川整備完了

身近な住環境を整える

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
優良建築物等整備事業（向ヶ丘遊園駅前地区） 向ヶ丘遊園駅北口地区における密集市街地において、住宅の共同化と土地の高度利用により駅前の顔づくりを推進するとともに、土地区画整理事業を促進し拠点地区の都市機能の向上を図ります。	向ヶ丘遊園駅前地区の調査・設計		向ヶ丘遊園駅前地区の整備実施		

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
駅アクセス向上等計画調査事業（中野島駅北口臨時改札口、向ヶ丘遊園駅自由通路） 向ヶ丘遊園駅において駅周辺の鉄道による地域分断を改善する自由通路の整備を進め、活力ある拠点地区の形成を推進するとともに、現在、上り線側に改札口がない中野島駅について利用者の利便性向上に向けた取組を推進します。	（中野島駅） （向ヶ丘遊園駅）	調査		設計	2008年度以降完成
あんしん歩行エリア整備事業（登戸駅周辺地区） 2007年度までに、登戸駅周辺地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定	整備着手		整備完了	
耐震対策等橋りょう整備事業 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。	整備済4橋 （累計）	整備完了5橋 （累計）		整備完了10橋 （累計）	2008年度整備完了14橋 （累計）

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
放置自転車対策事業 駐輪場の新設・増設・改修を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動の推進とあわせ、放置禁止区域の指定か所数拡大を図ります。また、自転車利用者へのモラル向上に向けた啓発活動を実施し、放置自転車の削減をめざします。	駐輪場の収容台数 9,979台 放置禁止区域 6 駅 啓発活動による 放置自転車対策	駐輪場の整備	放置禁止区域の指定 生田駅		
自転車利用環境整備事業 利用者の視点に立った使いやすい駐輪場をめざし、料金格差の設定などにより、利用率が70%に満たない駐輪場の利用率向上等の取組を推進します。	利用率が70%に満たない駐輪場 1 か所	利用率向上に向けた取組の推進			

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
ひとり暮らし等高齢者見守り事業 魅力ある区づくり推進事業 ひとり暮らし等高齢者の安否確認と交流の機会を増やします。 区民、高齢者とともに、地域における学習と交流の場を開設します。 区社協、NPO法人等と連携し、高齢者支援関係者のネットワーク化を図り、安心して暮らせる環境整備に努めます。	地域大学の開催 地域通信の発行 実態調査の実施				

地域で確かな医療を供給する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
多摩病院整備事業 市北部地域の救急医療及び急性期医療を軸とする中核病院として整備・運営します。	建設工事	開設・運営			

基本政策 人を育て心を育むまちづくり

子育てを地域社会全体で支える

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域子育て支援体制の確立(保育事業) 西宿河原保育所内に子育て支援センターを設置し、相談事業の充実や親子で遊べる場づくりを進めます。	(子育て支援センター) 1か所 西宿河原保育所内				
認可保育所の整備 保育基本計画・同事業推進計画に基づき保育所入所待機児童の解消を図るため、登戸地区(多摩福祉館の移築)及び宿河原地区に認可保育所を整備します。	(多摩福祉館:定員25人増) 工事着手 工事完了 (宿河原地区:定員90人増)		開所 基本・実施設計 工事着手・完了	開所	

生涯を通じて学び成長する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放 運営委員会 による施設開放	市民主体 運営モデル 1校	市民主体 運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校 へ拡大
多摩スポーツセンター建設事業 市民の健康増進、体力向上を図るため、誰もが気軽にスポーツを楽しむことのできる施設として多摩区のスポーツセンター整備を進めます。	2001年度 構想検討委員会 提言	基本構想策定	基本構想に 基づく事業推進		建設、開館

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
生田緑地施設整備事業 本区最大の緑の拠点施設として、中央地区に引き続き、ばら苑及び周辺地区、東生田2丁目地区の用地取得、施設整備を進めます。	(整備済面積) 117.4ha (ばら苑及び周辺地区の用地取得済面積) 3.1ha	(整備面積/年) 0.9ha 4.4ha	0.4ha 6.2ha	0.5ha 7.4ha	整備推進
生田緑地内ばら苑維持管理事業 市民ボランティアと協働して、苑内のバラを良好な状態に育成し、春・秋の年2回、広く市民に開放します。	(ばら苑入場者数) 2004年度 54,345人	60,000人	65,000人	70,000人	目標 100,000人
向ヶ丘遊園モノレール跡地整備事業 地域課題 向ヶ丘遊園から二ヶ領本川に沿う遊歩道として、安全に楽しく歩け、また、生田緑地ばら苑へのアクセス路として整備します。	整備計画策定	整備着手 五ヶ村堀緑地 ~本村橋	本村橋~旧向ヶ丘遊園入口	整備完了	

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

新たな産業を創り育てる

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>たまフォーラム推進事業</p> <p>地域に根ざした産業の創出を図るため、「たま市民生活・文化産業おこしフォーラム」の活動を推進します。</p>	<p>地域の産業おこしに向けた大学共同講座等の開催</p>	<p>(大学連携講座、セミナー等参加者数)</p> <p>200人</p>	<p>200人</p>	<p>NPO化支援</p>	<p>地域の大学、企業、NPO等の連携による主体的な取組の推進</p>

都市の拠点機能を整備する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>登戸駅駅舎改良及び南北自由通路整備事業</p> <p>登戸駅の駅舎改良や自由通路の整備を推進し、交通機能の向上と鉄道による地域分断など地域課題の改善を促進し利便性の高い拠点形成を推進します。</p>	<p>登戸駅自由通路・バゲージラック等整備</p>	<p>自由通路一部供用開始</p>	<p>自由通路及び橋上駅舎供用開始</p>		
<p>登戸地区土地区画整理事業</p> <p>向ヶ丘遊園駅北口や都市計画道路登戸1・3号線沿線など事業効果の高い地区について重点的な取組を進め、拠点機能の早期の発揮に向け整備を推進します。</p>	<p>整備</p>				→

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

川崎の魅力を育て発信する

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>「音楽のまち・かわさき」推進事業</p> <p>魅力ある区づくり推進事業</p> <p>区民の音楽活動を発表する場の提供と気軽に音楽に触れる機会を設けるために、生田緑地で音楽事業を開催するとともに、地域の活動を応援する音楽事業を実施します。</p>	<p>森のまつり まちかど祭 M・Dフェスタ</p>	<p>→</p>			
		<p>ふれあい祭り 応援事業</p>			

基本政策 参加と協働による自民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
区民活動支援事業 魅力ある区づくり推進事業 近年ますます活発になっている非営利的社会貢献活動を行う個人や団体を支援するため、区民活動支援事業を推進します。	区民活動支援コーナーの提供	→			
まちづくり推進事業 魅力ある区づくり推進事業 区民が主体となって、地域の魅力の掘り起こしや、身近な課題の解決を実践している「多摩区まちづくり推進協議会」の活動を支援します。	まちづくり推進活動の支援	→			
ISO9000シリーズ認証活用事業 窓口サービスの向上と効率化を図るため、取得済みのISO認証を維持します。	認証取得	ISO認証維持			→
行政サービスコーナー管理運営事業 (仮称)登戸行政サービスコーナーを開設します。			(仮称)登戸行政サービスコーナーの開設	管理運営	→
区民会議運営事業 区における課題を的確に把握し、区民の参加と協働によって、地域で解決するための調査・審議を行う区民会議を設置します。		要綱による 試行実施	条例による設置	運営	→

區別計画 麻 生 区

麻生区内で実施する主な施策・事業

基本政策 安全で快適に暮らすまちづくり

災害や危機に備える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
消防力の整備事業（麻生消防署） 効率的で効果的な防ぎよ活動及び災害活動時の安全管理のため、新たに指揮情報隊を麻生消防署に配置し、また、麻生消防署のポンプ車のうち1隊を5人乗車体制とします。	（指揮情報隊） （5人乗車体制）				麻生消防署に配置 麻生消防署で実施

快適な地域交通環境をつくる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
交通バリアフリー法重点整備地区交通安全施設整備事業 （新百合ヶ丘駅周辺地区） 交通バリアフリー法に基づき、新百合ヶ丘駅周辺地区について2007～2010年までにバリアフリー対策を実施します。		基本構想策定		整備着手	2010年度 整備完了
あんしん歩行エリア整備事業 （新百合ヶ丘駅周辺地区） 2007年度までに、新百合ヶ丘駅周辺地区エリア内の死傷事故件数2～3割削減を目標とした交通安全対策を進めます。	整備計画策定		整備着手	整備完了	
耐震対策等橋りょう整備事業 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、緊急活動道路にかかる橋や落橋により二次災害の恐れのある跨線橋・跨道橋の耐震対策を行います。	整備済 1橋 （累計）	整備完了 4橋 （累計）		整備完了 8橋 （累計）	2008年度 整備完了 11橋 （累計）
放置自転車対策事業 駐輪場の新設・増設・改修を行い、収容台数を増やします。また、放置自転車の撤去活動を推進します。	駐輪場の収容台数 5,141台 放置禁止区域 4駅	駐輪場の整備			→
自転車利用環境整備事業 利用者の視点に立った使いやすい駐輪場をめざし、料金格差の設定などにより、利用率が70%に満たない駐輪場の利用率向上等の取組を推進します。	利用率が70%に満たない駐輪場 1か所	利用率向上に向けた取組の推進			→

基本政策 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
老人いこいの家運営 (西生田中学校区) 高齢者を対象とした健康づくりや介護予防などの機能をもった(仮称)西生田老人いこいの家を西生田中学校区に整備します。				工事	2008年度 開設
介護サービスの基盤整備事業 (黒川地区) 介護保険制度の基盤整備として、黒川地区に介護老人保健施設を整備します。		工事着手	工事完了・開設 150床		

基本政策 人を育て心を育むまちづくり子育てを地域社会全体で支える

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
地域子育て支援体制の確立(保育事業) 王禅寺西地区の子育て広場を子育て支援センターと統合し、相談事業の充実や親子で遊べる場づくりを進めます。	(子育て広場)	1か所 王禅寺西地区			

子どもが生きる力を身につける

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校教育施設の新築事業 児童生徒の増加による学校の過大規模を解消するために、黒川地区小中学校の新築整備を進めます。	(黒川地区小中学校新築整備) 基本構想策定		工事着工		2008年度 開校
学校適正配置推進事業 学校の適正規模化に向けて早急な検討が必要な小規模校4校について、麻生区検討委員会での検討などを通じて、適正規模化へ向けた取組を進めます。	検討委員会設置	2か年で 白山小学校、 虹ヶ丘小学校、 白山中学校、 王禅寺中学校の 適正規模化の 方針決定		適正規模化への 取組の推進 (2か年)	新たな適正規模 化対象校への 取組

生涯を通じて学び成長する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
学校施設の有効活用事業 学校施設を地域の生涯学習及び市民活動の拠点としていくため、市民主体による学校施設の有効活用を促進します。	(市民主体による運営管理校数) 学校施設開放 運営委員会 による施設開放	市民主体 運営モデル 1校	市民主体 運営モデル 2校	本格実施 2校	順次 区内全校で 実施

基本政策 環境を守り自然と調和したまちづくり

緑豊かな環境をつくりだす

事業名	現状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
農ある風景の保全事業 市境に存する市街化調整区域内の斜面緑地の保全を農業振興施策と連携して推進します。	黒川・早野 岡上地区	グリーン ツーリズム、 里地・里山 環境学習の場 の実現を めざした取組			
新百合丘地区緑化推進重点地区 整備事業 花と緑を基調とした魅力づくりを目標として、新百合丘地区緑化推進重点地区整備事業を推進します。		麻生川サクラ植栽	新百合ヶ丘駅周辺花壇整備	公共施設緑化	
農業公園、交流促進型地域農業活性化 事業（黒川地区） 麻生区黒川地区の地域資源を活かしなが ら、計画区域内に進出する明治大学と連携 して、農業を中心とした地域振興と市民に 農環境とのふれあいを提供する場づくりを 推進します。	農業公園づくり 事業の推進	計画区域内に おける用地取得 農業基盤整備 体験型農園 の普及			農を活かした 地域の活性化

基本政策 活力にあふれ躍動するまちづくり

都市の拠点機能を整備する

事業名	現状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
新百合ヶ丘駅周辺地区の整備 万福寺土地区画整理事業の促進を図ると ともに、アートセンターの整備や昭和音楽大 学との連携を通じて芸術のまちづくりを推 進します。	万福寺土地区画 整理事業 アートセンター 基本計画策定 新しい市民利用 施設の検討	基本・実施設計	建設工事	整備完了 開館 開館	
柿生駅周辺地区再開発等事業 再開発区域内外の土地所有者に対し、意向 確認を行い、勉強会を立ち上げ、勉強会の 意見をまちづくりに反映させます。	事業推進調査 意向調査 交通安全対策 の検討	交通安全対策の 合意形成 及び実施		費用便益調査	2008年度 以降完成

基本政策 個性と魅力が輝くまちづくり

川崎の魅力を育て発信する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
イメージソング普及事業 魅力ある区づくり推進事業 麻生区イメージソングの歌詞を区民公募で、曲を昭和音楽大学の協力を得て作成し、音楽によるまちづくりを推進します。	区イメージソングの作成 イメージソングによる音楽のまちづくりの推進	第20回麻生音楽祭開催 イメージソングCD作成			
麻生区中学校合同音楽会 魅力ある区づくり推進事業 「かなでよう あさおの響き」と題し、麻生区中学校合同音楽会をPTAや地域住民と開催し、連携と交流を深めます。	市民協働による音楽会の開催				
ふるさとあさお再発見事業 魅力ある区づくり推進事業 ふるさとあさおを次世代に継承するため、麻生区に伝わる文化、芸術、技術などの調査研究を実施します。	調査報告書の調整	調査報告書の発行 小中学校等での活用			
麻生区世代交流事業 魅力ある区づくり推進事業 生き生きとした地域づくりを推進するため、高齢者と若い世代の2つのファッションショーを開催することにより、世代を超えた交流ができる場を創造し、より豊かなまちづくりの推進を図ります。	ファッションショーの開催				

文化・芸術を振興し地域間交流を進める

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
アートセンター整備事業 方福寺土地区画整理事業と連携して新百合丘地区の文化芸術活動の拠点施設として(仮称)アートセンターを整備します。	アートセンター基本計画策定	基本・実施設計	建設工事	整備完了開館	
麻生区芸術のまち推進事業 地域課題 麻生区で実施されている文化芸術活動や区を拠点として区民主体で開催される文化芸術事業を地域メディアを活用し、広く区内外に情報発信し、麻生区の魅力をアピールします。	地域メディアによる情報発信の実施				

基本政策 参加と協働による自民自治のまちづくり

市民と協働して地域課題を解決する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>新しい市民利用施設の活用に係る 市民検討事業 地域課題</p> <p>新しい市民利用施設の活用に係る基本計画 作成にあたり、区民代表等による検討委員 会を設置し、施設整備計画への市民意見を 反映します。</p>	<p>検討委員会 による検討</p>	<p>区民提案作成 施設基本計画 作成</p>	<p>実施計画作成 工事施工</p>	<p>施設利用開始</p>	<p>施設利用</p>
<p>区民会議運営事業</p> <p>区における課題を的確に把握し、区民の参 加と協働によって、地域で解決するための 調査・審議を行う区民会議を設置します。</p>		<p>要綱による 試行実施</p>	<p>条例による設置</p>	<p>運営</p>	<p>→</p>

市民満足度の高い行政サービスを提供する

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>ホームページリニューアル事業 魅力ある区づくり推進事業</p> <p>誰もが簡単に必要な情報を得られるよう に使いやすいホームページにリニューアルを することにより、区役所の広報発進力の強 化を図ります。</p>	<p>ホームページの アクセシビリティ 向上に向けた 現状分析</p>	<p>アクセシビリティ 向上を中心とした ホームページ リニューアル</p>			

計画の進行管理と評価について

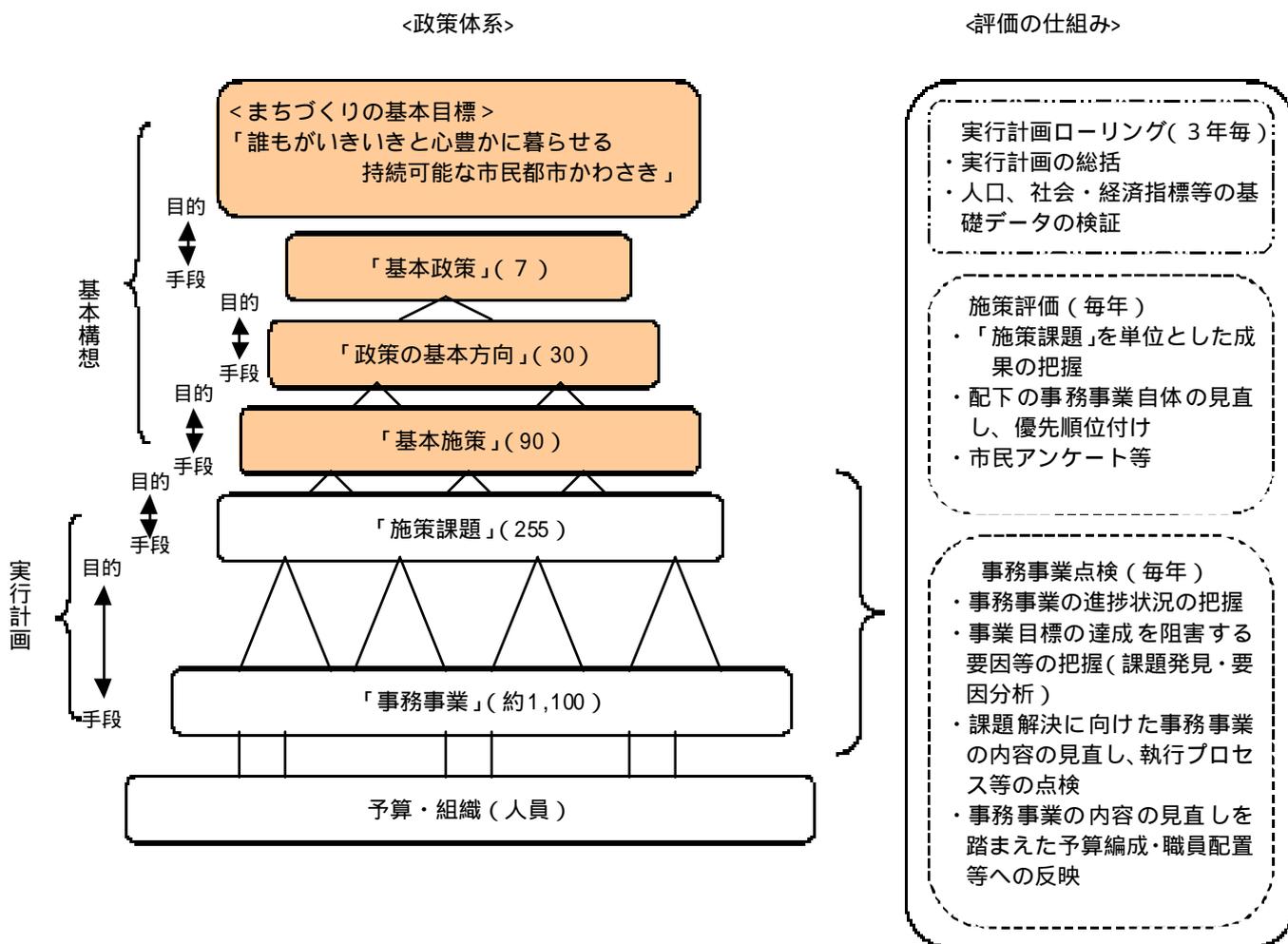
1 総合計画の政策体系に沿った進行管理・評価のしくみ

今回の総合計画づくりは、行政が取り組み解決すべき問題や課題を明確にすることから始めました。その「問題や課題」は、基本構想に示されたまちづくりの基本目標である「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」の理念によって導かれたものです。この基本目標を、7つの「基本政策」、30の「政策の基本方向」、90の「基本施策」、さらに「施策課題」へと展開し、最後に問題や課題を解決すべき具体的な「事業」が導かれます。

このような手続を踏むのは、事業の目的、目標、成果などを明確にするためであり、市民の視点に立った、市民本位の行政運営を行う上で必要なことです。そして、このようなツリー状の体系は「政策体系」と呼ばれ、各階層の政策・施策は目的と手段の関係として位置付けられています。この政策体系は事業の妥当性を検証し、市民が実感の持てる成果を把握するためには無くてはならないものです。

図は政策体系と評価の仕組みとの関連を示したものです。施策、事務事業のレベルで点検・評価を実施し、総合計画の進行管理を適正に行っていきます。

図 新総合計画における進行管理と評価



2 「計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)」のシステム

計画は普遍のものではなく、実行に移し(Do)結果・成果を評価し(Check)改善・改良を加え(Action)次の計画(Plan)へと繋げることが必要です。時代状況の変化が急速な現代にあつては、事務事業の不断の見直しが求められています。また、市民の実感できる計画の推進を図る必要があることから、市民の実感度や評価(意見)を定期的にモニタリングするなど、市民との協働による計画の推進を図ります。

目標(目的)実現のための基礎的な手段である「事務事業」については、毎年度、現状の把握から解決すべき問題・課題を明確にし、当該年度の目標に対する成果を把握します。また、事業を予算や組織、職員配置等の視点から点検し、より効率的で効果的な事業計画の執行に努めます。(事務事業点検)

事務事業を目的ごとに束ねた施策単位では、施策の効果や事務事業の進捗率を把握し、施策ごとに問題・課題を整理し、施策を構成する事務事業の優先順位や手法の見直しに繋げていきます。(施策評価)

また、3年毎に行う実行計画の見直しでは、3ヵ年の成果を総括し、人口や社会経済等の基礎的なデータを精査・検証、基本構想の着実な実現に向けて施策と事務事業について見直しを図ります。(実行計画のローリング)

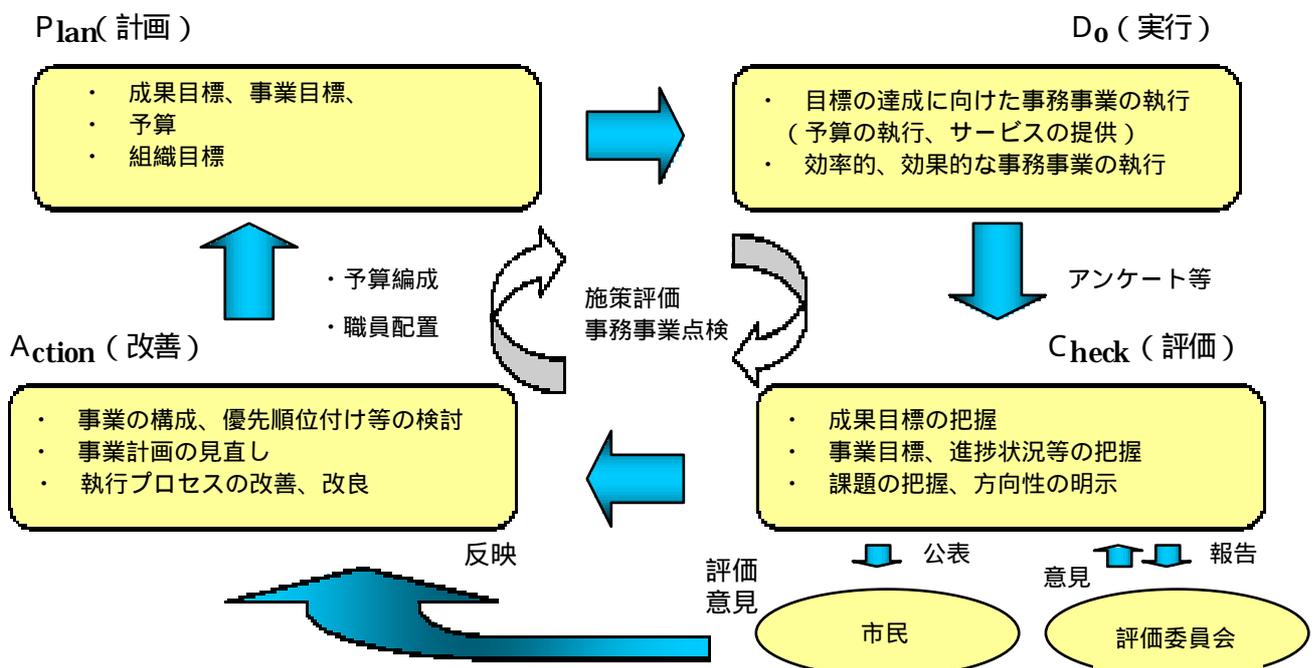
3 評価結果の公表等

評価結果はわかり易い形で毎年公表し、市民のご意見を施策や事務事業の見直しに反映させてまいります。

4 計画、予算、執行体制との連携、職員の活力

計画の実効性を確保するためには、計画、予算、組織の連携が重要であり、計画を実行する職員の活力が必要です。こうしたことから、事務事業の点検結果を予算編成過程で活用するとともに、業務プロセスや組織・人員などの執行体制の視点からの点検も行い、点検結果を組織・職員配置計画に活用してまいります。また、目標管理制度(業績評価)における組織目標と連携し、組織の活性化と職員の意識改革を促進します。

図 PDCA (計画 - 実行 - 評価 - 改善) の仕組み (川崎再生 ACTION システム)

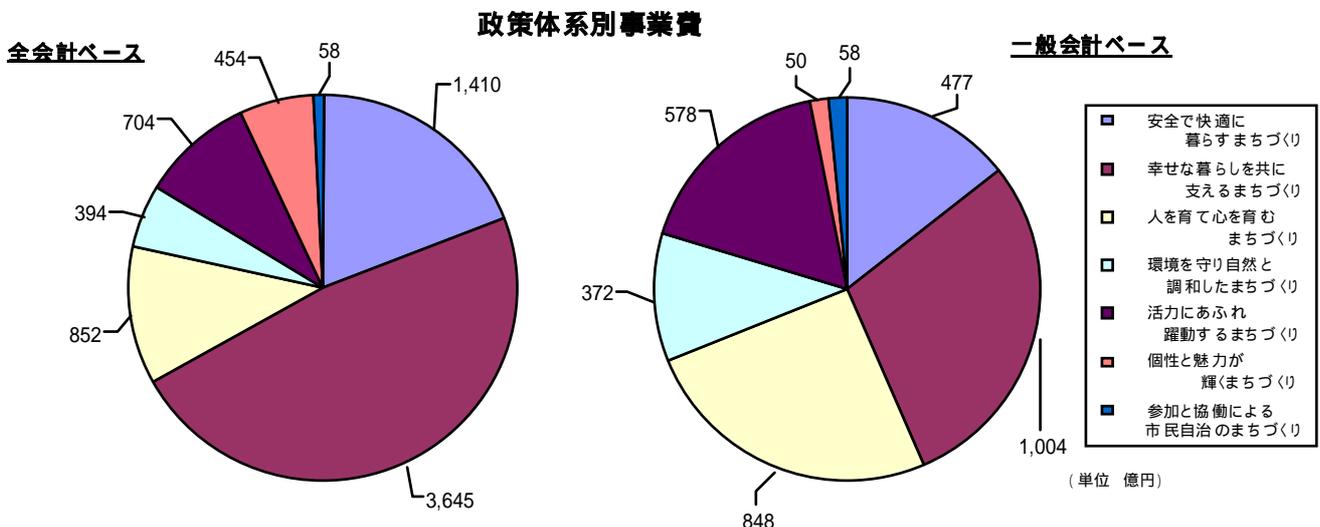
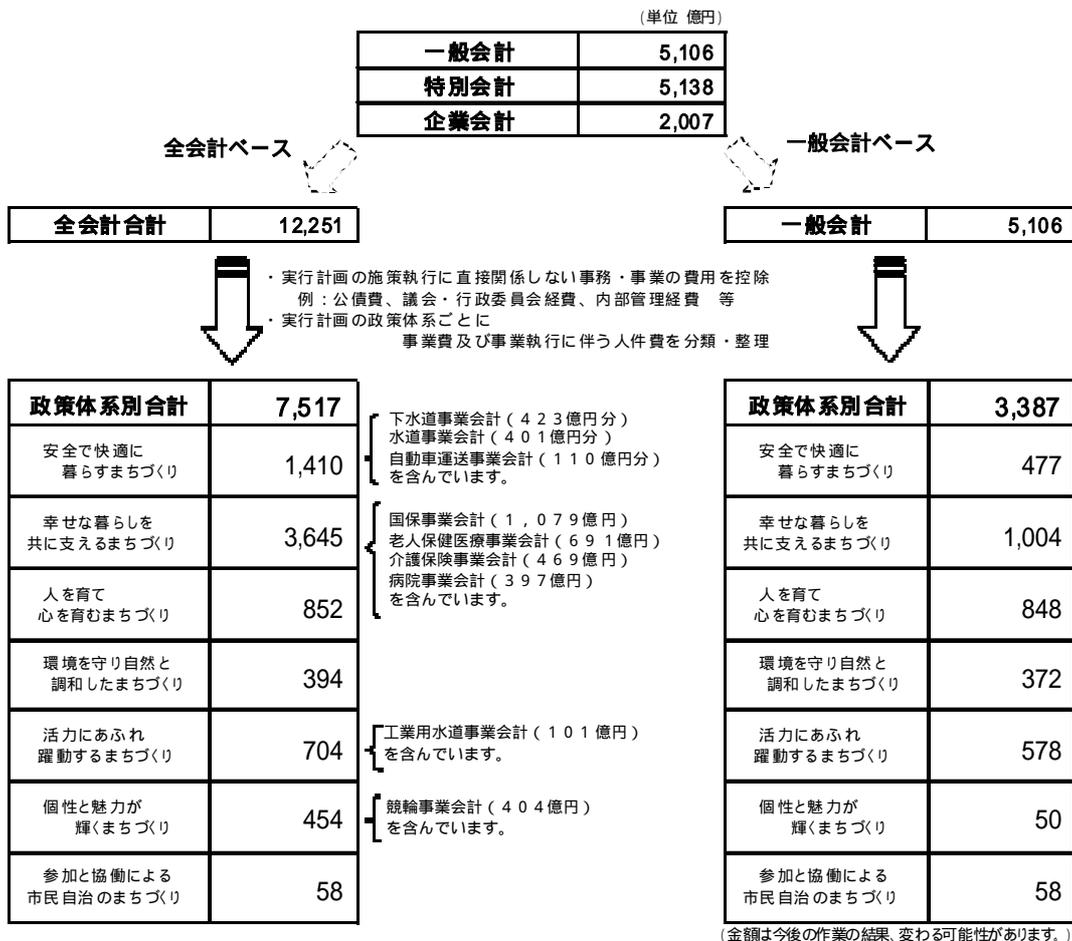


計画事業費見積 ~ 政策体系別計画事業費 ~

新総合計画実行計画では、政策体系別に計画事業費を分類・整理することによって、どのような施策にどれくらいの事業費をかけていく計画であるのかをわかりやすく示していきます。

実行計画素案に示す施策の執行に必要な計画事業費として、2005（平成17）年度予算案の金額を政策体系別に整理すると次のとおりとなります。

2005（平成17）年度予算案に基づく政策体系別事業費



同様に、2006（平成18）年度及び2007（平成19）年度の計画事業費の見積額を政策体系別に整理すると次のとおりとなります。

計画期間における政策体系別の計画事業費

（単位 億円）

	2005(平成17)年度		2006(平成18)年度		2007(平成19)年度	
	全会計ベース	一般会計ベース	全会計ベース	一般会計ベース	全会計ベース	一般会計ベース
政策体系別合計	7,517	3,387	7,650	3,519	7,990	3,468
安全で快適に暮らすまちづくり	1,410	477	1,450	497	1,500	542
幸せな暮らしを共に支えるまちづくり	3,645	1,004	3,690	1,019	3,860	1,040
人を育て心を育むまちづくり	852	848	870	864	850	846
環境を守り自然と調和したまちづくり	394	372	430	404	370	344
活力にあふれ躍動するまちづくり	704	578	750	619	720	580
個性と魅力が輝くまちづくり	454	50	400	56	630	54
参加と協働による市民自治のまちづくり	58	58	60	60	60	62

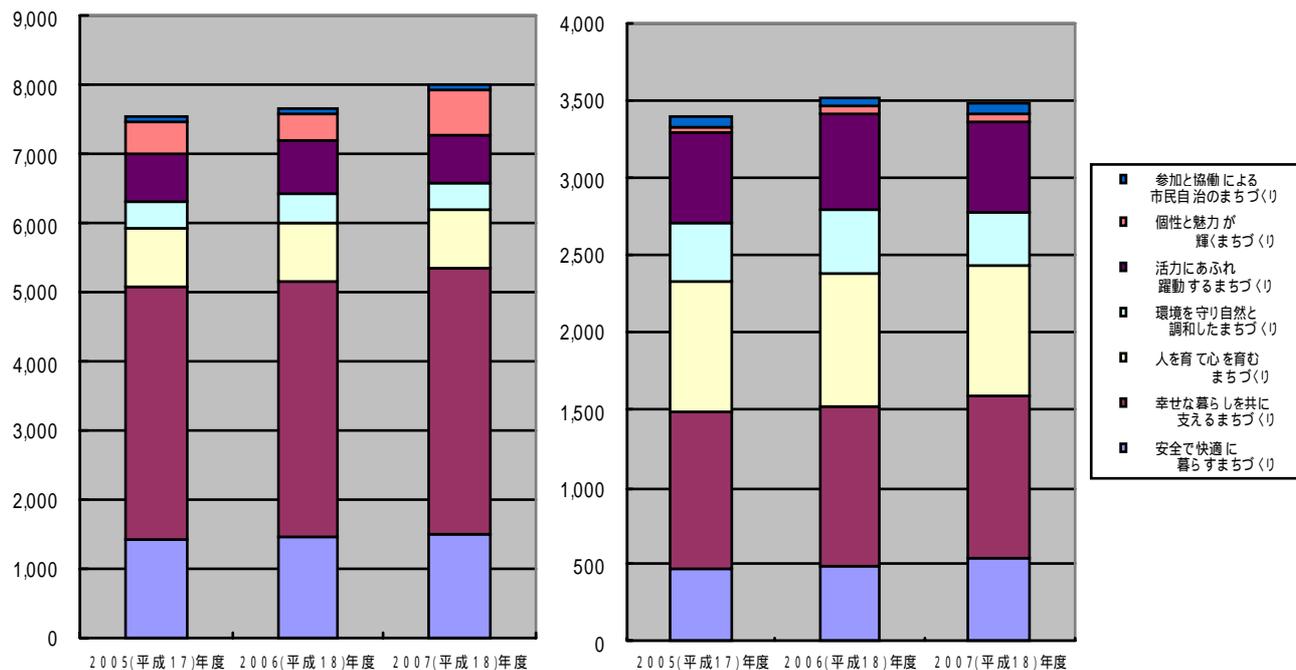
（金額は今後の作業の結果、変わる可能性があります。）

政策体系別計画事業費の推移

（単位 億円）

全会計ベース

一般会計ベース



また、一般会計ベースでの計画事業費の見積額は次のとおりとなります。

2006(平成18)年度については、公債費及び減債基金借入償還金の増などにより約424億円の増が想定されますが、公債費についてはこれに対応する減債基金の取り崩しなどにより対応するものであり、また、減債基金借入償還金については、毎年度償還と借入を行うしくみとしていることから、償還額が毎年度増えていきますが、2002(平成14)年度に策定した中期財政収支見通しに基づく計画的な減債基金借入によるものです。

現在、実行計画素案の計画事業費見積額を踏まえながら中期財政収支見通しの試算作業中ですが、計画事業の執行が可能な事業費規模であると考えます。

計画事業費(一般会計ベース)

(単位 億円)

	2005(平成17)年度	2006(平成18)年度	2007(平成19)年度
計画事業費見積額	5,106	5,530	5,590

(金額は今後の作業の結果、変わる可能性があります。)